

株式会社あじかん／2026年3月期 決算SUMMARY

2026年5月14日

通 期		(第58期)	(第59期)	(第60期)	(第61期)	(第62期)	(予想)
		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	(第63期)
		(百万円)					2027年3月期
【連結】	【全社】						
	売上高	45,315	47,433	50,240	51,045	51,430	54,500
	(前期比)	(106.4%)	(104.7%)	(105.9%)	(101.6%)	(100.8%)	(106.0%)
	売上原価	34,155	36,836	37,673	37,490	38,498	
	売上総利益	11,160	10,596	12,566	13,554	12,931	
	(利益率)	(24.6%)	(22.3%)	(25.0%)	(26.6%)	(25.1%)	
	販売費及び一般管理費	10,600	10,507	10,856	11,590	11,652	
	営業利益 ※①+②+③-④	560	89	1,710	1,964	1,279	1,500
	経常利益	921	466	2,266	2,221	1,642	1,700
	(利益率)	(2.0%)	(1.0%)	(4.5%)	(4.4%)	(3.2%)	
	親会社株主に帰属する当期純利益	635	267	1,509	1,548	1,111	1,150
	(利益率)	(1.4%)	(0.6%)	(3.0%)	(3.0%)	(2.2%)	(2.1%)
	(EPS・円)	(83.44)	(35.21)	(198.38)	(203.52)	(146.18)	(153.63)
	【業務用食品】						
	売上高	40,837	43,399	46,417	47,000	46,960	
	(前期比)	(108.5%)	(106.3%)	(107.0%)	(101.3%)	(99.9%)	
	うち 自社製品	(21,721)	(23,309)	(25,256)	(26,004)	(26,307)	
	※① セグメント利益 (▲: 損失)	1,493	961	3,370	3,652	2,564	
	【ヘルスフード】						
	売上高	3,926	3,498	3,346	3,585	4,007	
	(前期比)	(89.5%)	(89.1%)	(95.7%)	(107.1%)	(111.8%)	
	うち 自社製品	(3,821)	(3,398)	(3,257)	(3,503)	(3,916)	
	※② セグメント利益 (▲: 損失)	689	634	317	214	339	
	【その他】						
	売上高	551	534	476	459	462	
	(前期比)	(96.2%)	(96.9%)	(89.1%)	(96.4%)	(100.7%)	
	※③ セグメント利益 (▲: 損失)	▲3	▲4	▲19	12	57	
	※④ 【全社費用等】	1,619	1,503	1,958	1,915	1,681	
	営業CF	442	959	1,376	3,455	1,735	
	投資CF	▲438	▲533	▲1,100	▲763	▲1,173	
	財務CF	▲78	▲179	▲247	▲2,578	▲518	
	現金等の増減額 (▲: 減少)	▲11	279	65	159	71	
	固定資産投資 (建仮除く)	483	1,043	1,253	1,530	1,190	
	減価償却費	1,056	1,062	1,127	1,192	1,301	
	研究開発費	347	320	340	402	400	
	従業員数(人)	930	920	880	892	887	
	総資産	24,440	25,102	27,640	26,897	27,158	
	借入金	5,170	5,272	5,308	3,086	3,159	
	純資産	13,874	14,157	15,844	17,388	18,302	
	(自己資本比率)	(56.8%)	(56.4%)	(57.3%)	(64.6%)	(67.4%)	
	(EBITDA)	(1,616)	(1,151)	(2,837)	(3,156)	(2,580)	
	(ROA)	2.6%	1.1%	5.7%	5.7%	4.1%	
	(ROIC)	2.1%	0.3%	5.8%	6.5%	4.2%	
	(ROE)	4.7%	1.9%	10.1%	9.3%	6.2%	
	(PBR)	0.5倍	0.4倍	0.6倍	0.5倍	0.6倍	
	(DOE)	0.9%	0.9%	1.3%	1.4%	2.3%	
	(1株当り・円)	(15.00)	(16.00)	(25.00)	(30.00)	(52.00)	(58.00)
【個別】	売上高	44,220	46,439	49,066	49,908	50,048	53,000
	(前期比)	(106.2%)	(105.0%)	(105.7%)	(101.7%)	(100.3%)	(105.9%)
	売上総利益	10,847	10,320	12,165	13,220	12,527	
	(利益率)	(24.5%)	(22.2%)	(24.8%)	(26.5%)	(25.0%)	
	販売費及び一般管理費	10,357	10,270	10,529	11,323	11,382	
	営業利益	489	49	1,635	1,896	1,145	
	経常利益	936	428	2,229	2,115	1,619	1,650
	(利益率)	(2.1%)	(0.9%)	(4.5%)	(4.2%)	(3.2%)	(3.1%)
	当期純利益	674	270	1,497	1,478	1,120	1,130
	(利益率)	(1.5%)	(0.6%)	(3.1%)	(3.0%)	(2.2%)	(2.1%)
	(EPS・円)	(88.61)	(35.55)	(196.76)	(194.32)	(147.47)	(150.96)
	総資産	23,004	23,501	26,014	25,003	25,271	
	純資産	13,180	13,353	14,929	16,248	17,101	

※ EPS＝1株当たり利益、EBITDA＝営業利益＋減価償却費、ROA＝総資産利益率、ROIC＝投下資本利益率
ROE＝自己資本利益率、PBR＝株価純資産倍率、DOE＝自己資本配当率

第2四半期累計		(第58期)	(第59期)	(第60期)	(第61期)	(第62期)	(予想)
		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	(第63期)
		(百万円)					2027年3月期
【連結】	売上高	21,667	22,912	24,249	25,093	24,943	26,000
	売上総利益	5,196	5,538	5,859	6,891	6,004	
	(利益率)	(24.0%)	(24.2%)	(24.2%)	(27.5%)	(24.1%)	
	販売費及び一般管理費	5,164	5,292	5,276	5,589	5,852	
	営業利益	31	245	582	1,301	152	350
	(利益率)	(0.1%)	(1.1%)	(2.4%)	(5.2%)	(0.6%)	
	経常利益 (▲: 損失)	127	738	966	1,337	260	400
	親会社株主に帰属する中間純利益 (▲: 損失)	65	490	657	922	179	270
	(EPS・円)	(8.57)	(64.42)	(86.43)	(121.16)	(23.63)	(36.07)
	営業CF	▲28	492	▲554	2,349	300	
	投資CF	▲302	▲158	▲379	▲55	▲520	
	財務CF	239	▲263	876	▲1,398	22	
	現金等の増減額 (▲: 減少)	▲61	142	▲21	950	▲235	
	総資産	24,440	25,838	27,781	26,897	26,948	
	純資産	13,874	14,504	14,926	17,388	17,302	
【個別】	売上高	21,163	22,446	23,689	24,531	24,324	25,000
	売上総利益	5,051	5,400	5,649	6,726	5,841	
	(利益率)	(23.9%)	(24.1%)	(23.8%)	(27.4%)	(24.0%)	
	販売費及び一般管理費	5,049	5,169	5,111	5,458	5,746	
	営業利益 (▲: 損失)	2	231	537	1,267	94	
	経常利益 (▲: 損失)	100	661	871	1,231	151	300
	中間純利益 (▲: 損失)	49	432	583	841	102	200
	(EPS・円)	(6.49)	(56.87)	(76.67)	(110.51)	(13.41)	(26.72)
	総資産	25,154	24,102	26,014	25,500	25,154	
	純資産	16,224	13,518	13,943	15,561	16,224	

(注) 上記2027年3月期予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2026年3月期 決算ハイライト

【米・海苔の高騰を背景に業務用食品等の巻寿司用具材の販売量が減少するも、ヘルスフードの需要拡大により5期連続増収（売上高は過去最高）／利益面では原材料価格の高騰影響により減益】

業務用食品等は、国内において米や海苔等の価格高騰を背景に主力の巻寿司用具材の需要が減少。一方、海外では米国カリフォルニア州の動物福祉法（Prop.12）の影響はあったが、規制対象外州への拡販により売上が拡大したほか、オセアニア、シンガポール、香港および中国子会社においても需要が拡大した。売価改定やビジネスホテル向け販路拡大にも取り組んだが、業務用食品等全体ではほぼ前年並み（前連結会計年度比0.1%減少）となった。

セグメント利益は、主要原材料である鶏卵価格の高止まりなどにより減益（同29.8%減少）。

一方、ヘルスフードは、通信販売においてテレビCMを中心とした広告施策が奏功し、「焙煎ごぼう茶 ごぼうのおかげW」等の機能性表示食品が好調に推移。また、市販品においても「GOVOCE」「GOVOCEミルク」など新製品の投入効果により増収（同11.8%増加）。

セグメント利益は、ごぼう原料価格の高止まりや広告宣伝費、人件費の増加があったものの、増収効果により増益（同58.2%増加）。

これに全社費用などを加えた営業利益は1,279百万（同34.9%減少）、為替差益や為替予約の時価評価益などの営業外損益を加えた経常利益は1,642百万（同26.1%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,111百万（同28.3%減少）となり各利益とも減益となった。

配当については、株主資本配当率の向上および経営成績を勘案し、1株当たり52円を予定する。

2027年3月期業績見通し

2030年3月期を着地点とする長期ビジョン「あじかんV3.0 ver.2.0」を策定し、第13次中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）の最終年度を迎える。

雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復を背景に、外食・中食需要の持ち直しが期待される一方、原材料価格の上昇や円安、人件費・物流費の増加、エネルギーコストの変動など、コスト環境は引き続き厳しい状況が想定される。こうした環境下、当社グループは第13次中期経営計画の基本戦略に基づき、収益構造改革の完遂、業務用事業の質的成長、ヘルスフード・海外事業の拡大等を推進し、通期では、売上高54,500百万円、営業利益1,500百万円、経常利益1,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,150百万円を見込む。

